

# B(2) ② 複合画像認識技術の応用による優位性

実現可能性  
確認段階

## 画像認識などによるバスにおける車両出入りおよび積卸作業の自動データ収集システムの開発

### 研究開発の背景

物流現場におけるドライバーの待ち時間対策や、人材不足である物流センターでの検品業務の効率化やミスの削減に着目する。  
トラックドライバーによる荷役作業の進捗毎の時間計測や入荷商品の商品名認識、ケース数のカウント、消費期限の認識等を画像認識技術を活用して製品化することで物流現場の課題解決を目指す。

### 研究開発の概要

車両やドライバーの流動性を支援し、車両、荷役状態の画像認識を通じて、効率的なバス運用の支援、荷役業務の時間短縮、省人化を目的とする。荷役業務の自動認識・記録、ケース検品向けの画像認識技術の確立により、積卸・棚卸時の検品作業の自動化、省人化へつなげていく製品を提供する。

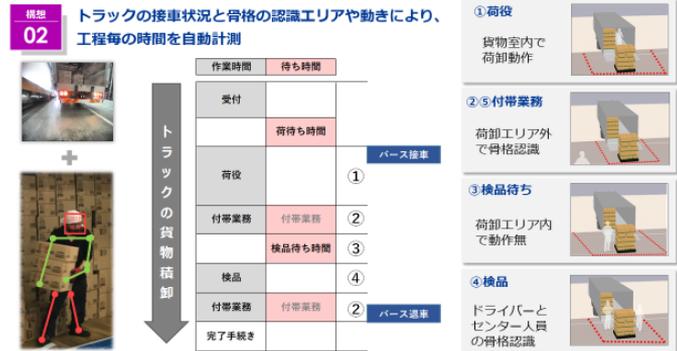
### 既存の取組みに対する優位性

- 複数の画像認識の組合せによる着車・荷卸し・検品の自動データ化技術の研究
- バーコードリーダー等による既存検品業務の効率化やミスの削減を可能とする画像認識技術の確立
- カメラ画像によるバス内の「車両」「人」「モノ」の複合的な状態把握、安価な通知・記録システムの開発

## グローリー

### 新商品構想 ② 荷役工程自動計測システム

confidential GILORY



バスカメラにより、接車・退車のタイミングや作業状態を検出することが可能

© GILORY LTD. All Rights Reserved | 11

### 新商品構想 ③ 画像検品システム【基礎技術研究】

confidential GILORY



画像認識による個数確認技術は、様々な用途での活用が期待できる。

© GILORY LTD. All Rights Reserved | 12